

## 『小学生ってすごい！～玉入れのコツ～』 5歳児10月 神功こども園



### エピソード

ならやま小中学校2年生のダンシング玉入れの練習を見に行きました。みんな食い入るように見ながら大きな声で応援をしていました。

園に戻ってから思ったことや気付いたことを話す時間を持ちました。A児は「ダンスとか玉入れに変わる時にパッと変わっててすごいと思った(ダンスする時と玉入れする時があり、切り替えができていました)」と興奮気味に言い、その後B児も「ダンス踊るの上手で、玉入れも上手でよかった」と話していました。それを聞いた子ども達は「うん、そうそう」と言わんばかりにうなずいていました。

次にC児は「玉を1個ずつ投げるんじゃなくていっぱい持って投げて、そしたらいっぱい玉あるからちょっとは入ってたから、だからいっぱい投げたらいい」と言いました。保育者が「そんなところまで見てたんだね。1個ずつ投げるよりもいっぱい玉を持って一気に投げた方が入りやすく、入る可能性が高くなるってことだね。よく見てたんだね」と言い、みんなで玉入れのコツを共有しました。翌日玉入れを準備しておくとして1個ずつ玉を投げる姿もありましたが、玉入れのコツを思い出して複数の玉を一気に投げる姿が見られました。

### 保育者の思い

- ・こども園と小学校との交流をもち、小学校はどんなところなのか見てみるきっかけになればいいなと思いました。
- ・小学生の姿を見て刺激を受けたり、憧れの気持ちをもったりして、就学への期待を高めていって欲しいと思いました。
- ・それぞれの気付きや思ったことを全員で共有したいと思い、園に戻ってから話す時間を持ちました。
- ・玉入れを楽しんだり、話し合いの時間に共有したコツを実践したりして欲しいと思い、園庭に準備しておき、遊ぶことができるようにしました。

### 子どもの育ちや学び

- ・小学生の姿(すごいと思ったことや気付いたことなど)を思い出してみんなで共有していました。
- ・沢山いる小学生の中から一気に玉を投げている子を見つけ、玉がカゴに入るところまで目で追って見ていました。
- ・小学生への憧れからどうやって投げているのかコツを見つけようとし、投げ方に気付くことができていました。
- ・小学生のすごさを感じたり刺激を受けたりして憧れや尊敬の気持ち、就学への期待感を高めることができました。

### 家庭だったら・・・

- ・小学校への通学路を歩いて、信号や横断歩道、子ども安全の家などの場所と一緒に確認してみるのもいいかもしれませんね。
- ・子ども達は小学校への期待をもっている反面、不安な気持ちもあるかと思えます。お子さんと小学校で楽しみにしていることや頑張りたいことなど話をしてみたいかがでしょうか。不安なことや聞きたいことなどありましたらいつでも担任までご相談ください。